

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立比々多小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	【A問題】筋道を立てて話すことや、慣用句の意味を理解し使うことについては、比較的良好である。 【B問題】話し合いの様子を表す文を読み、質問の意図を捉えたり、司会の役割を正確に捉えたりすることも、概ねできていることが分かった。なお、教科に関する調査からは、「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と答える子の割合が高い。また発表時は、うまく伝わるよう工夫している」の回答が上昇した。	【A問題】漢字を正しく使うことについては、無回答が多かった。また、つながりが合っていない文を的確に選ぶこと。 【B問題】自分の考えを明確にし、まとめること、考えを書くこと。また、目的や意図に応じて文章を深く読み込み、的確に押さえること。正解となる条件の押さえが不十分である。
算数	【A問題】数量の関係を数直線上に表すことや十進法で表された数の大小関係は理解できている。また、混み具合(密度)についてや180度の角の大きさ、空間の中にあるものの位置を表現すること(座標)は比較的良好である。 【B問題】示された情報を理解し、条件に合う時間を求めることができている。また、示された考え方を解釈し表に表すこと及び条件に合う時間を判断することも理解できている。	【A問題】小数の除法の意味や除法の式と商の意味を理解すること。円周率や円と直径の関係を理解することや百分率を求めること。 【B問題】複数の数量を関連付けながら、理由や解釈を、式や言葉で表すこと。また、グラフから読み取ったことを適切に判断すること。
理科	安全にかつ生物愛護の視点をもって、生き物を観察する適切な方法を考えられる。生物や堆積作用といった自然事象についての、科学的な言葉や概念が理解されている。また、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察することができている。	実験結果を分析し考察した内容や実験結果から言えることを記述すること。電流の流れ方と検流計の関係を理解すること。また、科学的な思考や表現に関すること。
質問紙	子どもたちの姿は、自己肯定感、自己有用感、規範意識、将来への意識等が、かなり高い。放課後や休日の生活に関して次のような特徴が挙げられる。* 仲のよい親子関係 * 地域の中で育ち、地域の大人から愛されている * 友だちとよく遊ぶ等である。学校生活は概ね良好で友だちや教師との関係も良い。家庭と学校とのコミュニケーションもよくとれている。地域の行事への参加や地域・社会への関心は高くなった。	家では、学校の宿題以外の学習はあまりせず、テレビやゲームをして過ごしていることが調査から浮き彫りになった。また、家で自分で計画を立てて勉強する児童や、予習・復習をしたり新聞を読んだりする児童の割合が約半数の状態にある。読書をする児童の割合は3割止まりである。教科への意識で、「好き」という数値が低くなっており、学習の意欲とも関わる課題と言える。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>国語、算数、理科ともに、本校で今まで取り組んできた「学びあい(話し合い)」活動を今後も重点的に指導していく。</p> <p>【国語】漢字の書き取りなどは、繰り返し学習することで定着を図っていく。読解力を身につけるために、家庭と連携して読書や新聞を読む活動に取り組んでいく。また、読書タイムの活用や図書室環境の充実などを進めていく。同様に、「読み聞かせボランティア」の活用と充実を図っていく。自分の考えや振り返り等を文章で記述する機会を増やし、書く力の育成や書くことへの苦手意識の克服をしていく。</p> <p>【算数】図を用いて考えたり、自分の解答の妥当性を検証したりする活動を大切に、問題を正確に捉え解決する力、さらには、少し難しいと思われる問題にも挑戦する意志や意欲の育成を図っていく。国語と同様に文章で記述する機会を増やしていくことで、理由や説明を記述する力を育てていく。</p> <p>【理科】学習意欲向上の点から「なぜ」「どうして」「こうすれば」等、児童の素直な見方・考え方を大切に、学習問題や実験に結びつけ興味・関心を高めていく。また、仮説や予想を十分に立てさせ実験結果を出すだけでなく結果から仮説を検討したり、得た知識や技能を基に次の課題を発見したりする等の学習場面を設けていく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>家庭の指導のおかげで子どもたちの基本的な生活習慣が身につけており、心身共に健やかに育っていることがわかります。子どもたちが地域の行事やボランティア活動に高い割合で参加していることから、比々多地区の家庭や地域の教育力の働きが大きいと思われます。ただ家庭において、子どもたちがテレビやゲームなどにかかる時間が長いことも気がかりであり、家庭と学校が手を取り合って検討していく課題であると考えます。また家庭学習については、宿題だけでなく、教科書やノートを開いて予習・復習を行うなど、自分で計画を立てて学習に取り組むことが必要です。教育委員会から配布されている「学びのすすめ」も参考にして、家庭での時間の使い方についてお子さんと一緒に考えていただきたいと思います。さらに読書や新聞を読む活動にも家庭と連携して取り組んでいきたいと考えます。最後に家庭や地域の皆様に協力をいただき、子どもが主体的に活躍できる場が設けられ、地域住民の方々とふれ合う機会が更に充実されるよう努力いたします。</p>
